

しっくい 漆喰

5千年前から使われてきた命を守る素材



ふくた まさのぶ
福田 正伸

漆喰が持つ「命を守る力」を次代に伝えたい、その思いから、北区民まつりでの体験会や漆喰サロンを通じ、私たちの暮らしに寄り添いながら漆喰の素晴らしさを伝えています。寺の庫裏の改修で2021 愛知まちなみ建築賞を受賞。



しっくい 漆喰とは

漆喰とは、石灰岩や貝殻を焼いて粉末にしたものに、水、麻スサ、海藻糊を加えて練り上げ、空気中の二酸化炭素により硬化させる、伝統的な左官材料です。古来よりお城や社寺などの白い壁に使われてきました。

職人さんのコメント

材料の力を九割活かし、残りの一割に魂を込める九一の信念を持ち続けています。伝統的な素材である漆喰を現代の住宅事情・生活様式にあわせてアレンジし普及させることが使命です。



(写真提供：漆喰九一)